

II 油糧種子

1 大豆

(1) 国際的な需給の概要（詳細は右表を参照）

<米国農務省（USDA）の見通し>

2018/19 年度

生産量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

・前月に比べ、米国での単収上昇により上方修正された。

消費量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

・前月に比べ、中国等の搾油需要低下により下方修正された。

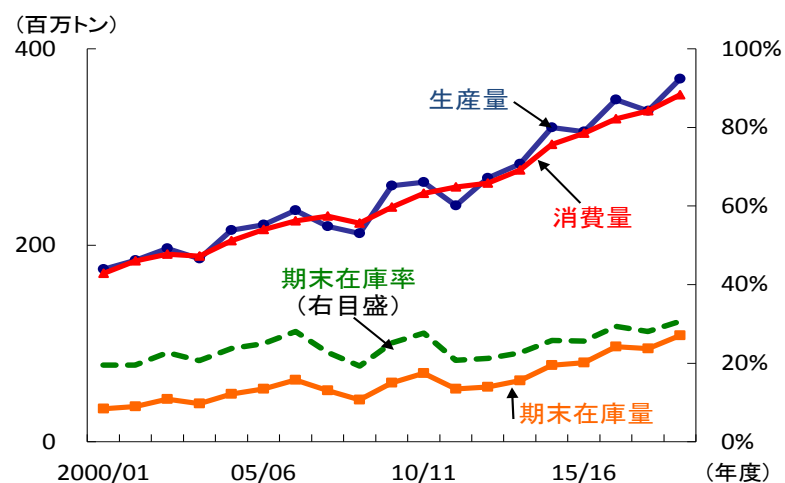
輸出量 前年度比 ↑ 前月比 ↓

期末在庫量 前年度比 ↑ 前月比 ↑

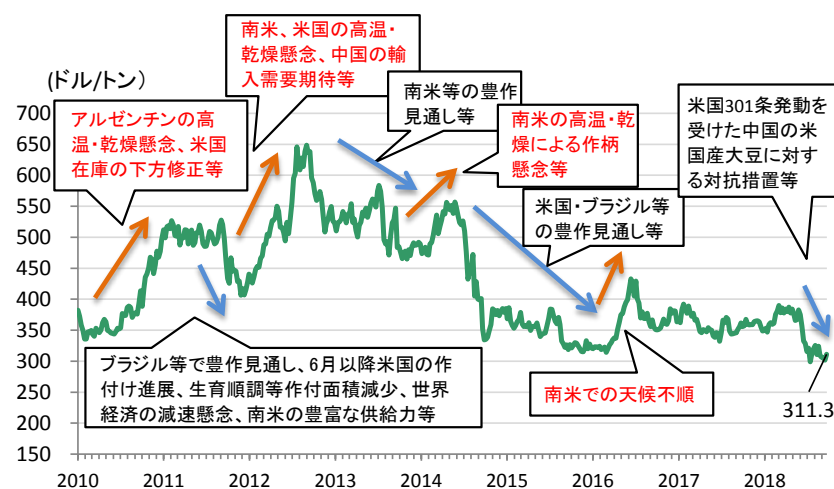
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値	前月予測から の変更	対前年度 増減率(%)
生産量	348.1	336.8	369.3	2.2	9.6
消費量	328.9	337.0	353.0	▲ 0.6	4.8
うち搾油用	287.2	293.7	308.2	▲ 0.5	4.9
輸 出 量	147.4	153.6	156.9	▲ 1.1	2.1
期末在庫量	96.7	94.7	108.3	2.3	14.3
期末在庫率	29.4%	28.1%	30.7%	0.7	2.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(12 September 2018)



資料：USDA「PS&D」(2018.9.12)をもとに農林水産省で作成。



注：シカゴ商品取引所による2018年9月21日までの毎週金曜日の期近価格である。

(2) 国別の大豆の需給動向

< 米国 >

【生育・生産状況】米国農務省（USDA）によると、9月23日時点において、大豆の収穫が開始され、主要18州では収穫率は14%である。これは過去5年平均の8%を上回っている。生産量は、単収が前月より上方修正され、127.7百万トンと史上最高の見込みである。9月にかけて、酷暑が収まり、大豆の生育に適した気候となったことで、作柄は良好である。

【需給状況】搾油用需要量の増加から、消費量も前月より上方修正された。生産増予測により、期末在庫も上方修正された。

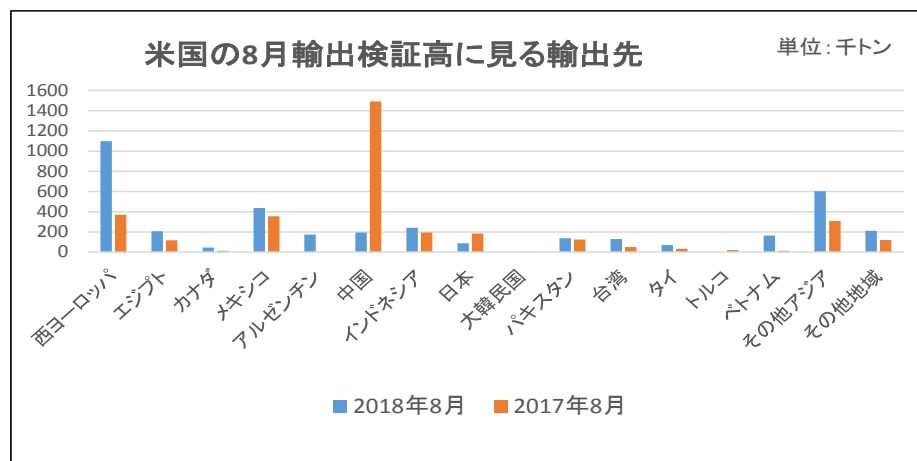
【貿易情報・その他】オイルワールド誌によると、8月の輸出検証高を見ると、中国を除くアジア、ヨーロッパ、メキシコ、エジプト向けなどが堅調である。

大豆－米国

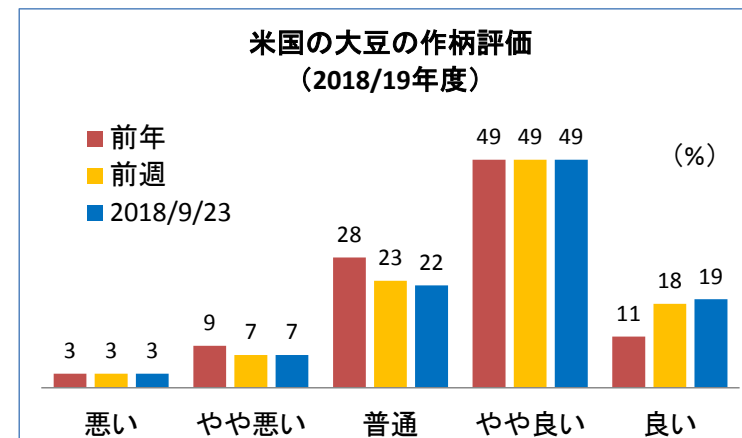
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	116.9	119.5	127.7	2.9	6.9
消費量	55.7	59.6	60.1	0.3	0.8
うち搾油用	51.7	55.9	56.3	0.3	0.7
輸 出 量	59.0	58.0	56.1	-	▲ 3.3
輸 入 量	0.6	0.6	0.7	-	13.3
期末在庫量	8.2	10.7	23.0	1.7	114.2
期末在庫率	7.2%	9.1%	19.8%	1.4%	10.7
(参考)					
収穫面積(百万ha)	33.47	36.23	35.96	-	▲ 0.7
単収(t/ha)	3.49	3.30	3.55	0.08	7.6

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 September 2018)



資料：Oil World weekly(August 17, August 31, September 7)



資料：USDA「Crop progress」(2018.09.23)

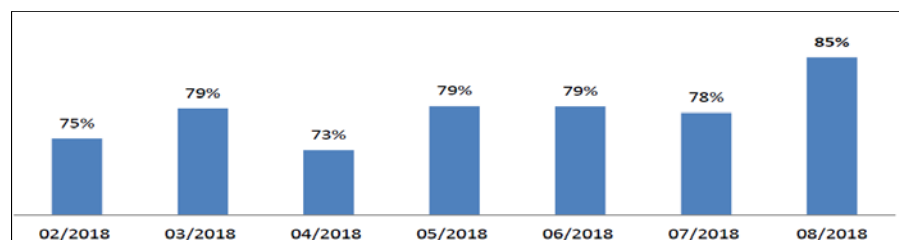
< ブラジル >

【生育・生産状況】ブラジル食料供給公社（CONAB）によると、2017/18年度の大豆生産量は、119.20 百万トンで史上最高の見込み。2018/19 年度の生産については、9月中旬に作付けが開始された。国際穀物理事会（IGC）によると、2018/19 年度の生産量は、前年度 1.4%増加の 121.0 百万トンの予測。

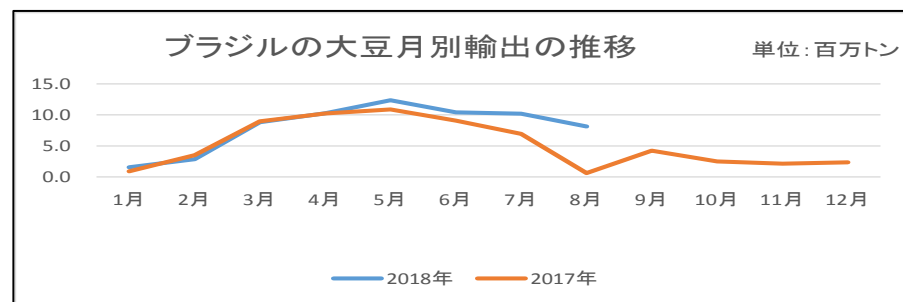
【需要動向】国内価格は、CONAB によると、トラック運賃高騰による影響を受けて上昇している。

【貿易情報・その他】輸出量は、前年より増加し 8 月時点の累計で、約 65 百万トンに達している。輸出先は、中国が大多数を占めている。米国産大豆に対する中国の課税措置後である 8 月の輸出量では、中国向け輸出が 85%を占めた。その他では、ヨーロッパ、中近東諸国へも輸出されている。

ブラジルの大豆輸出に占める中国の割合



資料：USDA 「Oilseeds: World Markets and Trade」 September 2018



資料：ブラジル商工サービス省

大豆—ブラジル

(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	114.6	119.5	120.5 (121.0)	-	0.8
消費量	43.8	46.5	46.2 (…)	▲ 0.1	▲ 0.5
うち搾油用	40.4	43.0	42.7 (44.7)	-	▲ 0.7
輸出量	63.1	76.7	75.0 (73.0)	-	▲ 2.2
輸入量	0.3	0.2	0.4 (0.8)	▲ 0.1	84.2
期末在庫量	26.5	23.0	22.7 (26.6)	▲ 1.2	▲ 1.5
期末在庫率	24.7%	18.7%	18.7%	▲ 0.9	0.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	33.90	35.10	37.50 (36.50)	-	6.8
単収(t/ha)	3.38	3.40	3.21 (3.32)	-	▲ 5.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」(12 September 2018)
OIL WORLD 「OIL WORLD Monthly」(24 August 2018)

ブラジルのクロープカレンダー（2017/18年度）（中部から南部）

2017/18年度	2017年												2018年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
夏とうもろこし	リオグランデス州等 播種 5.08 (百万ha)												収穫 26.8 (百万t)								
冬とうもろこし	マトグロソ州、パラナ州等 播種面積夏冬計 16.65												播種 11.57 収穫 54.5								
大豆	播種 35.15												早熟種大豆収穫後冬とうもろこし播種 収穫 119.3								

資料：CONAB 2018 年 9 月

< カナダ >

【生育・生産状況】カナダ農務農産食品省（AAFC）によると、2018/19 年度の収穫面積は、2.54 百万ヘクタール。単収は、2.76 トン/ヘクタール。

【需要状況】AAFCによると、搾油需要が堅調であり、食用および工業用需要が、史上2 番目となる 1.9 百万トンの見込みである。

【貿易情報・その他】AAFCによると、カナダドルの米国ドルに対する有利な為替相場のため、カナダ産大豆は、米国産やブラジル産に競争力を持ち、多様な輸出先を確保できる見通しで、輸出量は 5.3 百万トンで、前年度（4.6 百万トン）より増加する見込み。

< アルゼンチン >

【生育・生産状況】ブエノスアイレス穀物取引所によると、10 月から植え付けの始まる 2018/19 年度の生産量は、不作となった前年より 17.9 百万トン多い、53.0 百万トンの見込み。なお、USDA は 57.0 百万トン、オイルワールドでは、52.0 百万トンの見込みである。

【貿易情報・その他】オイルワールド誌によると、中国がブラジル産に加え、アルゼンチン産大豆の輸入を増やす動きを見せているとのこと。

2017/18 年度については、生産量が少ないことから、搾油用などの国内需要をまかなうために、パラグアイなどからの輸入を増やして対応している。

また、輸出税については、従来課されていた大豆の輸出税は、25%から 18%に引き下げられたが、新たに財政的な問題から、2020 年までの暫定措置として、1 ドルあたり 4 ペソが課されることとなり、合計では、引き上げられた。

大豆－カナダ

(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はAAFC	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	6.6	7.7	7.0 (7.0)	-	▲ 9.3
消費量	2.5	2.9	2.6 (2.4)	-	▲ 10.1
うち搾油用	1.9	1.9	2.0 (・・・)	-	3.3
輸 出 量	4.6	4.9	5.0 (5.3)	-	1.5
輸 入 量	0.5	0.5	0.6 (0.4)	-	19.1
期末在庫量	0.3	0.6	0.6 (0.7)	-	▲ 7.1
期末在庫率	3.9%	8.1%	7.7% (9.2%)	-	▲ 0.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.23	2.94	2.55 (2.54)	-	▲ 13.3
単収(t/ha)	2.96	2.63	2.75 (2.76)	▲ 0.11	4.6

資料：USDA「Oilseeds: World Markets and Trade」、
「World Agricultural Production」、「PS&D」(12 September 2018)
AAFC「Outlook for Principal Field Crops」(17 September 2018)

大豆－アルゼンチン

(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	55.0	37.8	57.0 (52.0)	-	50.8
消費量	47.8	42.4	47.9 (・・・)	-	13.0
うち搾油用	43.3	37.7	43.0 (24.3)	-	14.1
輸 出 量	7.0	2.1	8.0 (5.0)	-	281.0
輸 入 量	1.7	3.9	2.2 (2.3)	-	▲ 43.1
期末在庫量	35.5	32.7	36.0 (30.7)	1.9	10.1
期末在庫率	64.7%	73.4%	64.3% (・・・)	0.03	▲ 9.1
(参考)					
収穫面積(百万ha)	17.34	16.30	19.00 (18.30)	-	16.6
単収(t/ha)	3.17	2.32	3.00 (2.84)	-	29.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」
「World Agricultural Production」(12 September 2018)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(24 August 2018)

< 中国 >

【生産・生育状況】中国気象台によると、主産地の気象条件が良好であり、全国的に平均単収は平年並みか、やや増加の見込み。米国農務省（USDA）によると、生産量は前月から上方修正の15百万トンの見込み。

【需要状況】USDAによると、消費量は搾油ペースの落ち込みから、前月から1.5百万トン下方修正され、110.6百万トンの見込み。オイルワールド誌によると、2018/19年度（10～9月）の大豆搾油量は、5百万トン以上減少する見込みとのこと。

【貿易情報・その他】輸入量は、USDAによると、前月から下方修正され94.0百万トンの見通し。報道によると、中国は、この先5年間で、とうもろこし作付面積を減少させ、その分、大豆生産を増加させる方針を明らかにしたとのこと、今後の動向に注視が必要である。

大豆－中国

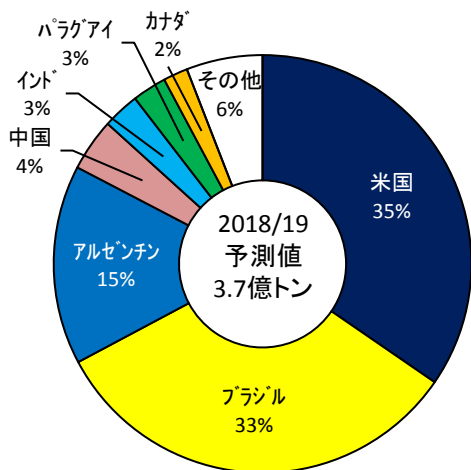
(単位:百万トン)

年 度	2016/17	2017/18 (見込み)	2018/19		
			予測値、()はOil.W	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	12.9	14.2	15.0 (14.3)	0.5	5.6
消費量	102.8	106.0	110.6 (…)	▲ 1.5	4.3
うち搾油用	88.0	90.0	93.5 (…)	▲ 1.5	3.9
輸 出 量	0.1	0.1	0.1 (…)	-	▲ 28.6
輸 入 量	93.5	94.0	94.0 (93.0)	▲ 1.0	-
期末在庫量	20.4	22.5	20.8 (…)	▲ 0.0	▲ 7.6
期末在庫率	19.8%	21.2%	18.8% (…)	0.2	▲ 2.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	7.20	7.85	8.40 (7.30)	0.30	7.0
単収(t/ha)	1.79	1.81	1.79 (1.96)	-	▲ 1.1

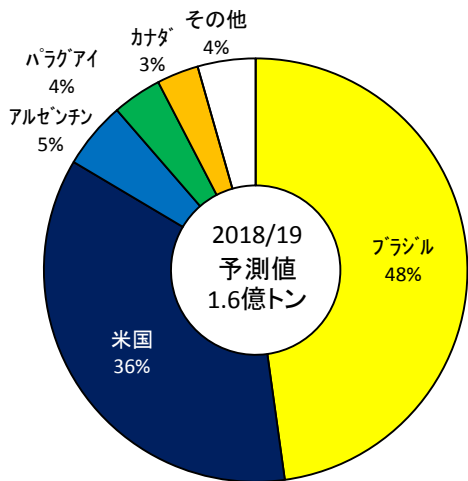
資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、
「World Agricultural Production」(12 September 2018)
OIL WORLD「OIL WORLD Monthly」(24 August 2018)

資料 世界の大豆生産量と輸出量/日本の輸入量(2018年9月現在)

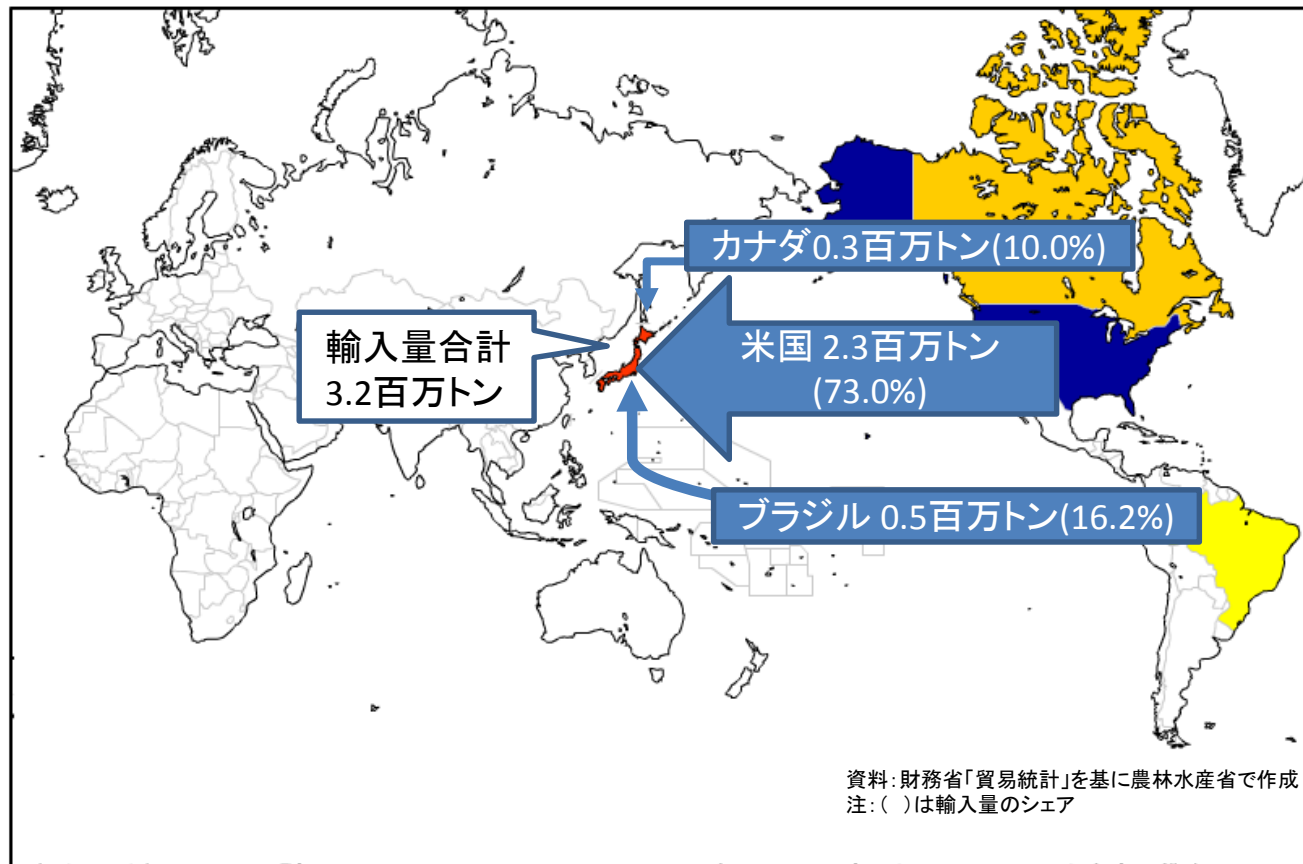
世界の大豆生産量



世界の大豆輸出量

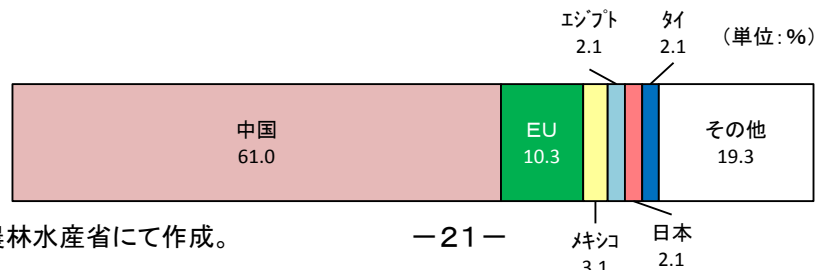


日本の国別大豆輸入量(2017年)



<参考>世界の大豆輸入国 (2018/19)

—世界の6割以上を中国が輸入—



日本の大豆生産量

2015年:0.24百万トン

2016年:0.24百万トン

2017年:0.25百万トン

(資料:農林水産統計)

(参考)本レポートに使用されている各国の穀物年度について (2018/19年度)

	小麦	とうもろこし	米	大豆	なたね
米国	18年6月～19年5月	18年9月～19年8月	18年8月～19年7月	18年9月～19年8月	
カナダ	18年8月～19年7月			18年8月～19年7月	18年8月～19年7月
豪州	18年10月～19年9月		19年3月～20年2月		18年12月～19年11月
EU	18年7月～19年6月				
中国	18年7月～19年6月	18年10月～19年9月	18年7月～19年6月	18年10月～19年9月	
ロシア	18年7月～19年6月				
ブラジル		19年3月～20年2月		18年10月～19年9月	
アルゼンチン		19年3月～20年2月		18年10月～19年9月	
タイ			19年1月～12月		
インド			18年10月～19年9月		
ベトナム			19年1月～12月		

注 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

例えば、2018/19年度は、米国の小麦では2018年6月～2019年5月、ブラジルのとうもろこしでは2019年3月～2020年2月です。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads?tabName=default>

【利用上の注意】

海外食料需給レポート (Monthly Report) は、在外公館からの情報、農林水産省が独自に各国の現地コンサルタント等を通じて入手した情報、公的機関 (各国政府機関、FAO、IGC 等) の公表資料、Oil World 等民間の調査会社から購入した資料、その他、商社情報や新聞情報等から入手した情報を農林水産省の担当者において検証、整理、分析したものです。

- **海外食料需給レポート (Monthly Report) で使用している統計数値は、主に米国農務省が 2018 年 9 月下旬までに 発表した情報を引用しています。**

さらに詳細なデータ等が必要な場合は、米国農務省のホームページを参照願います。

http://www.usda.gov/wps/portal/usda/usdahome?navid=AGENCY_REPORTS

主な参考資料

「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

<http://www.usda.gov/oce/commodity/wasde/>

「Grain : World Markets and Trade」

<http://usda.mannlib.cornell.edu/MannUsda/viewDocumentInfo.do?documentID=1487>

「Oilseeds : World Markets and Trade」

<http://usda.mannlib.cornell.edu/MannUsda/viewDocumentInfo.do?documentID=1490>

「World Agricultural Production」

<http://usda.mannlib.cornell.edu/MannUsda/viewDocumentInfo.do?documentID=1860>

「PS&D」

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/advQuery>

など

- **データは予測値であり、毎月各種データの更新を受けて改訂されますので留意してください。**

- 資料原典で表示されるブッシェル及びエーカー等の単位は、それぞれトン及びヘクタールに換算して記載しています。

- 資料原典において現地通貨で表示される金額を円換算するにあたっては、日本銀行国際局・財務大臣公示の基準外国為替相場及び裁定外国為替相場 (平成 30 年 5 月中において適用される) 等の換算レートを用いています。

- 市場年度は、おおむね各国で作物が収穫される時期を期首として各国ごとに設定されているため、国、作物によって年度の開始月は異なります。

なお、各国別、作物別の市場年度は、米国農務省によります。

<https://apps.fas.usda.gov/psdonline/app/index.html#/app/downloads?tabName=default>

○ 期末在庫率の対前年度増減率の欄は、前年度とのポイント差。なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合があります。

○ 本資料の引用等につきましては、出所（農林水産省発行「海外食料需給レポート（Monthly Report）」）を併記願います。

○ 本文中の略称については以下の通りです。

FAO	国連食糧農業機関
IGC	国際穀物理事会
USDA	米国農務省
AAFC	カナダ農務農産食品省
ABARES	豪州農業資源経済科学局
CONAB	ブラジル食料供給公社

なお、生産見通し等の予測は、各国際機関及び各国の農業機関によりそれぞれの分析手法に基づき行われるため、機関によってデータの相違がある場合があります。また、各国の農業機関の公表を受けて、国際機関の見通しが改訂される場合があります。

○ 本レポートの電子版は下記アドレスでご覧になれます。

農林水産省 海外食料需給レポート

http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/index.html

○ 本資料に関するご質問、ご意見等は、下記までお願いします。

連絡先	農林水産省大臣官房政策課食料安全保障室
	TEL：03-3502-8111 (内線 3805)
	FAX：03-6744-2396